

リフトマグネット用電源装置 L E C - 2 取扱い説明書

2010年 2月 24日
2014年 10月 24日改訂

三明電機株式会社

〒467-0863 名古屋市瑞穂区牛巻町6番10号
Tel 052-882-4331 Fax 052-871-4625

ご使用いただくまえに

三菱電機リフターマグネット用電源 LEC-2 をご愛用いただきありがとうございます。本製品は高い品質管理のもとで製造されていますが、より長寿命でご使用いただくために本取扱い説明書をご一読されますようお願い致します。

1. 外観及び各部の機能

(1) 外観

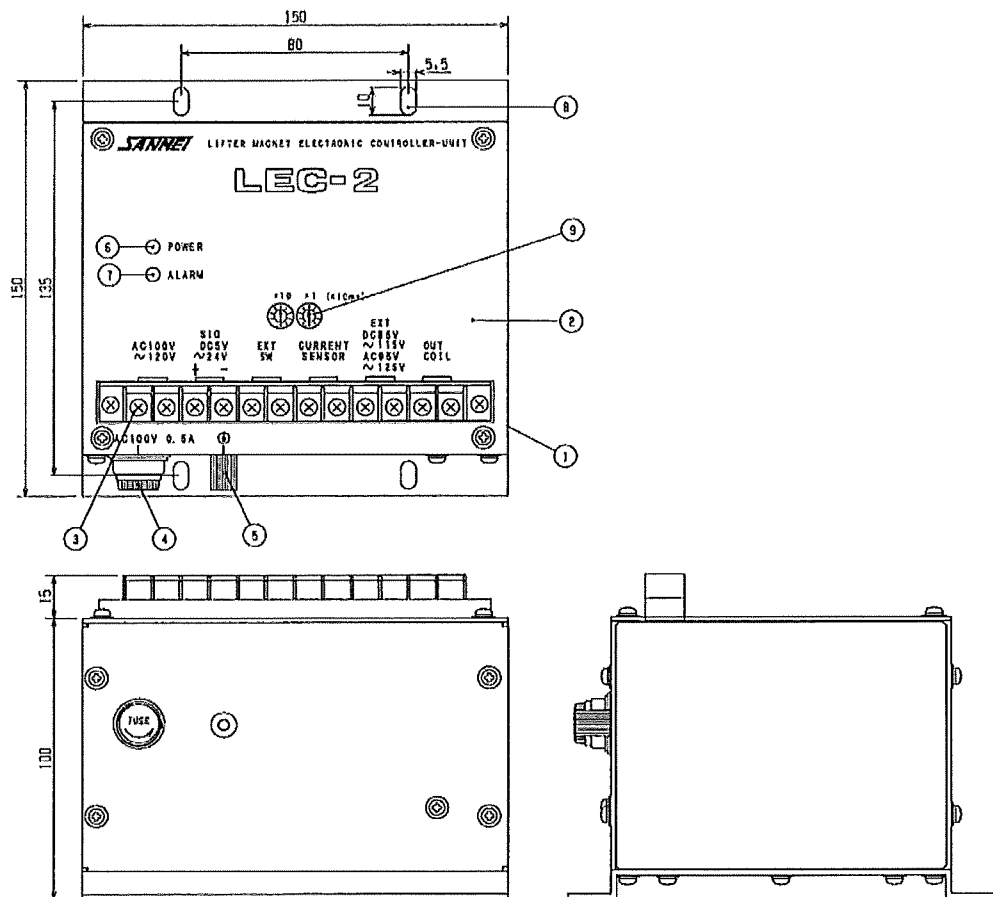


図 1 外観図

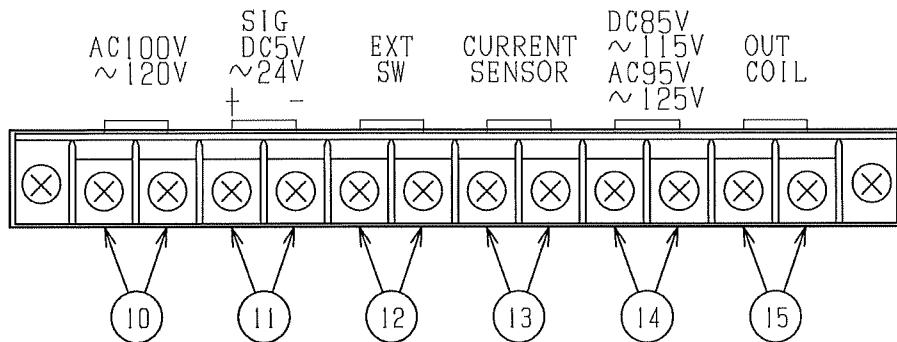


図 2 端子台詳細

(2) 各部の機能

- ① ケース
- ② 上蓋
- ③ 端子台
- ④ 制御回路用ヒューズ
φ6.4×30 0.5A ガラス管ヒューズ
- ⑤ アース端子
接地は必ず行ってください。
- ⑥ POWER ランプ (緑色)
電源投入時点灯。
- ⑦ ALARM ランプ (赤色)
⑮ コイル接続端子間の断線及び短絡時の異常確認用です。
短絡時は点灯し、マグネットへの通電を停止します。
断線時は 0.5 秒間隔で点滅します。通電の停止はしません。
短絡時は、制御回路電源を一度切って、原因を取り除いた後に、再度、
制御回路電源を入れると復帰します。
断線時は原因を取り除けば点滅は解消します。
- ⑧ 取付穴
M4 のビスにて取付可能 取付寸法・・・80×135
- ⑨ 逆励磁時間設定ロータリ DSW
0mSEC～990mSEC (P.6 参照)
起動信号の OFF 時に、逆励磁でマグネットからワークが落下する様に、
マグネットの接続台数やその他の環境に応じて設定して下さい。
- ⑩ 制御回路電源入力端子
AC100V～AC120V 10W 以下
- ⑪ 起動信号電圧入力端子
DC5V～DC24V の電圧を入力する。
- ⑫ 起動信号接点入力端子
外部のリレー等からの接点信号を入力する。
- ⑬ 電流センサ信号出力端子
マグネット起動時接点 ON
接点電圧最大値 AC250V DC220V
接点電流最大値 2A (誘導負荷の場合は 1A)

⑭ マグネット電源入力端子

DC85V～DC115V 又は AC95V～AC125V

AC100V 最大負荷時 240W 以下

⑮ コイル接続端子

LF-38 4台 (2.4A) まで並列接続可能

その他の LF シリーズも組み合わせにより使用電流が 2.4A 以下であれば使用可能です。

断線検知の仕様上、通電時に 0.2A 以上流れるように接続してください。通電電流が 0.2A 以下では、断線検知の機能が作動します。

コイル接続端子の回路部分のヒューズが内部プリント板上に設けてあります。：使用ヒューズ：大東通信 HM50 5A

2. 使用方法

(1) 例1 電圧入力の場合

下図のように回路を構成しスイッチの ON-OFF によってマグネットを制御する。

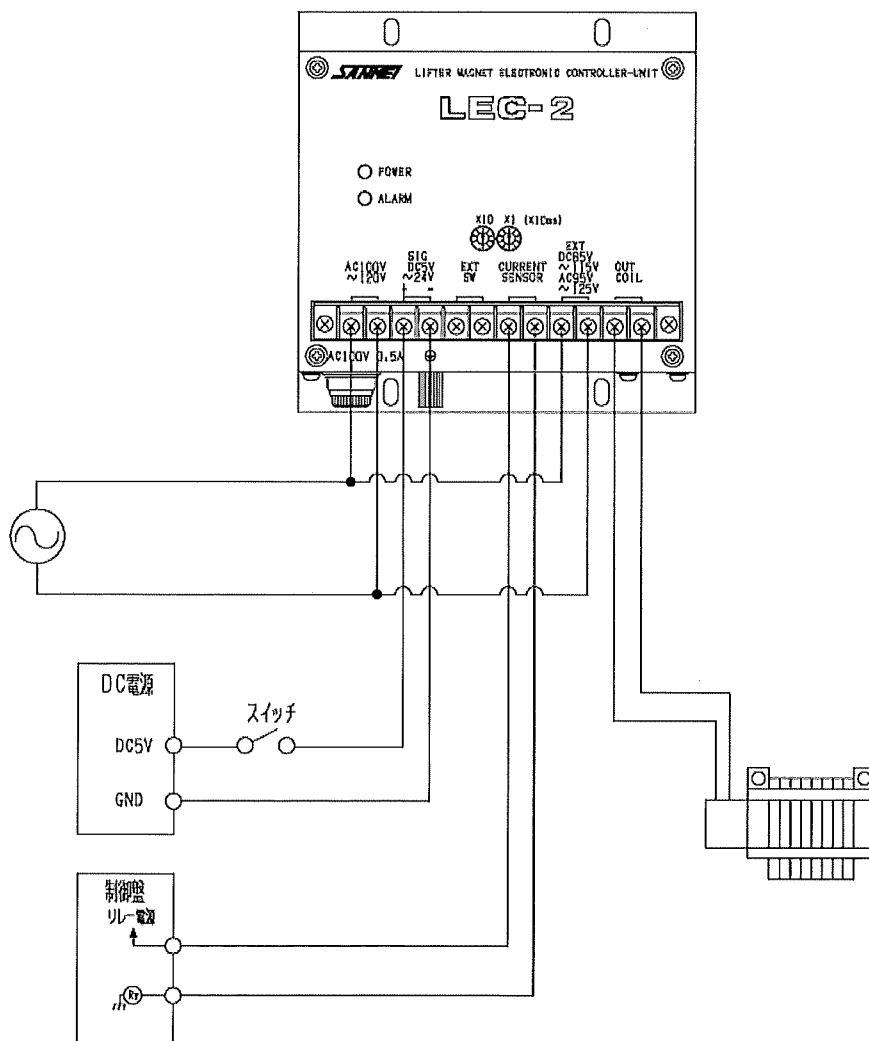


図 3 電圧入力時の回路構成例

(2) 例2 接点入力の場合

下図のように回路を構成しシーケンサやリレーなどの接点の ON-OFF によりマグネットを制御する。
CURRENT SENSOR 端子を利用し信号入力時マグネットの動作を確認する事ができる。

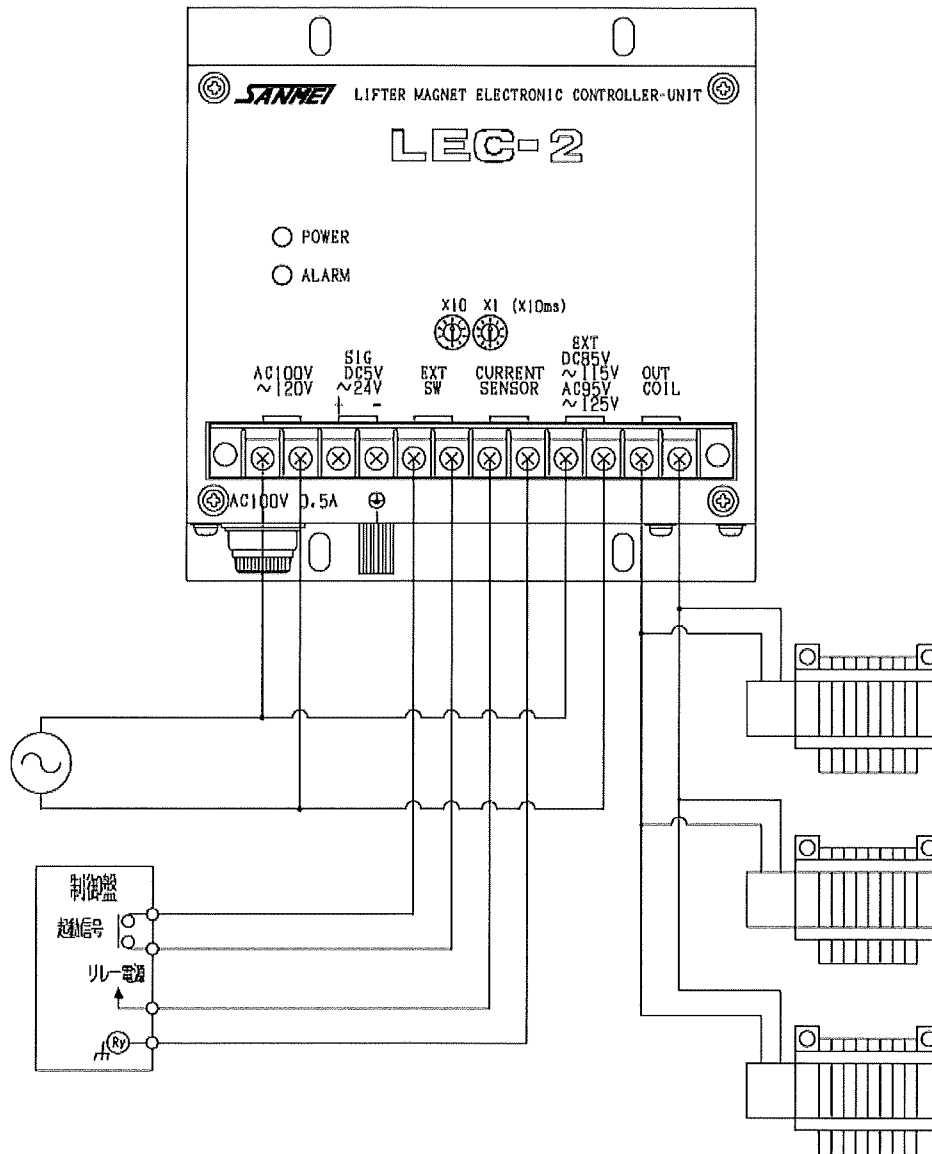
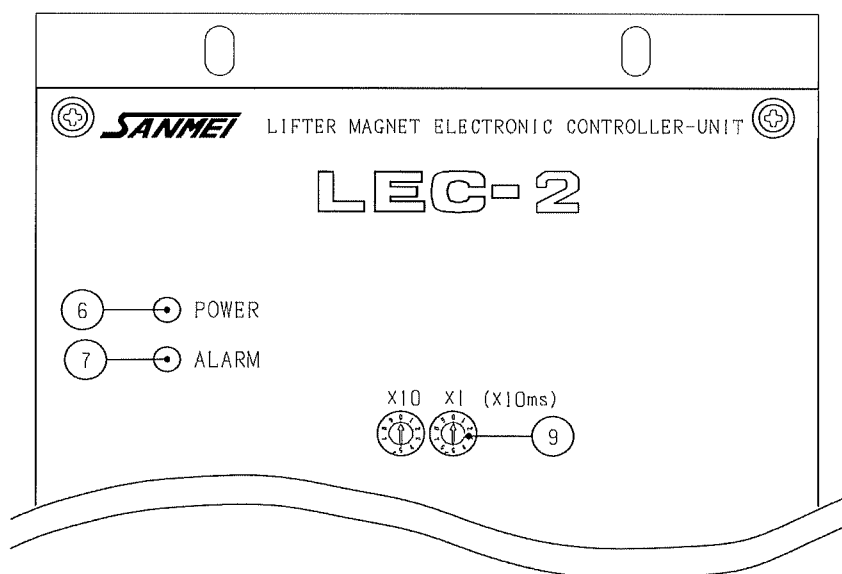


図 4 接点入力時の回路構成例

3. 注意事項

- (1) 端子台への配線は、間違いがないように十分注意してください。
- (2) 配線作業は入力電源を切って行なってください。
- (3) LEC-2 に強い衝撃や振動が加わらない場所に設置して下さい。
- (4) ヒューズは定格以上のものは絶対に取り付けしないで下さい。
- (5) 危険ですので、分解はしないで下さい。
- (6) 周囲温度が 0～50℃の場所で使用して下さい。
- (7) 相対湿度が 25～85%の場所で使用して下さい。
- (8) 直射日光のあたる場所では使用しないで下さい。
- (9) 塵埃、鉄粉の影響がひどい場所では使用しないで下さい。
- (10) 本体に水、油がかかる場所では使用しないで下さい。
- (11) 結露、氷結の恐れがある場所では使用しないで下さい。
- (12) 静電気や高調波、高周波ノイズの影響を強く受ける場所では使用しないで下さい。
- (13) 引火性、爆発性ガス、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。
- (14) 端子台への配線でネジの締め付けがゆるいと、誤動作するおそれがあるので、しっかりと締め付けてください。

4. 逆励磁時間設定について



ロータリ DSW による逆励磁時間設定

ロータリ DSW にて '01' ~ '99' まで設定できます。

矢印のあるロータの部分ドライバ等で回して、矢印の先を、セットする数字にあわせませす。

逆励磁時間設定 = (ロータリ DSW 値) × 10mSEC となります。

例) ロータリ DSW=05 の場合は、50mSEC になります。

*** 本製品に関して不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。***